

平成3年9月19日

自区内清掃工場建設にめど

西武鉄道所有の池袋スケートセンター用地に建設計画

19日、加藤一敏豊島区長は、東京都からの要請に基づく区内への清掃工場建設に向けて、その具体的な候補地を発表した。

建設予定地は、上池袋2丁目の池袋スケートセンター用地・約8000m²。本年7月下旬、加藤区長が、所有者である西武鉄道へ打診。以来、区長・西武鉄道首脳部・都清掃局長との3者で協議が進められていたが、このほど西武鉄道から清掃工場の建設計画を了解する旨の回答を得た。

都としては区への協力要請とともに、西武鉄道に対し正式に用地の提供を依頼し、日量300トン以上の清掃工場を建設したいとしている。

同用地は、鉄道線路と国道254号(川越街道)に囲まれており、清掃工場建設に伴う一般住宅地への影響も極力避けられるものと期待される。

今後は、都・区・西武鉄道の3者で具体的な計画について協議を進めながら、広く区民の理解と協力を求めていく予定。

加藤区長コメント

「清掃工場の自区内建設は、最も緊急の課題であり、四方八方手をつくし適地を探していたところですが、このたび西武鉄道の堤オーナーより、区内の一等地である池袋スケートセンター用地を提供してもよいとのお回答をいただき、東京都ならびに豊島区に対するそのご高志に深く感謝いたします」

問合せ 企画課長

